

正副理事長・総務委員 各位

第37回総務委員会及び第49回正副理事長会議事録

日 時：令和6年12月3日（火） 午後1時30分～午後3時00分

場 所：各事業所及び愛車協事務室（Zoom 会議）

出席者：総務委員名簿のとおり7人

I 総務委員長挨拶

本日は、年末の大変お忙し中お集まりいただきありがとうございます。
本日の会議は、12月12日開催の理事会に向けての重要な議案や確認事項など審議事項が多めになっていますので、スムーズな審議にご協力お願いします。

II 議題

「審議事項」

1. 組合員の入会について

専務理事から次の事業者の組合員加入の提案があり審議依頼があった。
（豊田支部）

英自動車：豊田市室町 7-17

代表者：田尾英一

- ・従業員1名/車体整備士1名 特定整備認取得済
- ・車体整備/販売/保険

以上について、総務委員各位に諮ったところ全員異議なくこれを承認した。

2. 賛助会員の入会について

- ・株式会社 テラダパーツ 代表者 寺田 博正
- ・本社所在地：刈谷市東刈谷町 2 丁目 6 番地 12
- ・事業内容： 中古部品販売、再生部品販売、中古部品輸出、マテリアル販売、廃車・使用済自動車買取り、中古車販売、中古車レンタカー、中古車リース

以上について、総務委員各位に諮ったところ全員異議なくこれを承認した。

3. 臨時総会の運営について（別添付略）

専務理事から配布された資料に基づき説明があり審議依頼があった。

以上について、総務委員各位に諮ったところ全員異議なくこれを承認した。

4. 令和6年度の上半期決算報告について（別添付略）

専務理事から配布された資料に基づき説明があり審議依頼があった。

以上について、副理事長各位に諮ったところ全員異議なくこれを承認した。

5. 日車協連の動き

平岩理事長からの報告

- ・団体交渉について、まだ先が見えていない状況であり、新しい情報が入ってれば、皆さんへお伝えしたい。
- ・日車協連の賦課金について、理事会の中で会長から、弁護士費用の値上げ分は来年度も継続されるがこれ以上の値上げはないと、発言があった。
- ・愛車協と日車協連の連携について、団体交渉における工賃の値上げが一般ユーザーに承認されるよう注視していく必要がある。
- ・封印の委託取り付け業務が、国交省との話し合いで、遅くとも来年度初めまでには先進安全自動車対応優良車体整備事業者を取得している推奨工場でも取扱いができる見通しとなった。

6. 令和7年度車体整備士講習開講について

- 12月中に車体整備士及び2級シャシ整備士講習の希望調査を行い
- 1月下旬の締め切りで応募状況を見て判断する。

7. 来年度の改選の流れについて

①12月中旬：

組合員へ「次期理事長候補者への立候補について」及び支部長へ「次期理事長候補者への立候補希望者の理事推薦について」の文書を発出する。（×切1月下旬）

↓↓↓↓

②1月下旬：

理事、支部長「次期理事候補者の推薦並びに支部長等の選任について」の文書を発出する。（×切3月下旬）

↓↓↓↓

③2月中旬：

理事会開催により、「次期理事長候補者の選出について」及び「次期員外理事候補者の選出について」の議題を提起し、次期理事長候補者及び員外理事候補者の選出について」を審議する。

理事長の立候補希望者が1月①の立候補締め切り日までに、いない場合は、「役員候補者選考内規」に従い、「旧理事により正副理事長の内から選出し役員改選年の通常総会時に開催される新理事による理事会で承認を受けるものとする。」により、選考する。

↓↓↓↓

④4月下旬：

理事会開催により、「令和7年度理事等の推薦について」の議題を提起し、
②の理事候補者を審議する。

↓↓↓↓

⑤5月25日（日）：

理事会において、「正・副理事長等の選出について」の議題を提起し、
候補者を審議する。

続いて審議結果を第21回通常総会時にて承認を得る。

8. その他

金原

・料金問題について、個々の損保会社と団体交渉を行っているが、保険会社が集まって作った、自研センターと交渉を行いレバレートより工数引き上げの方が値上げにつながると考えるので、日車協連に働きかけてほしい。

・日車協連の委員会は、報告事項になっている。本来であれば、各単組が困っていることを提案審議し、理事会で承認を得て事業を行うべきである。

・2級シャン整備士について、エーミング作業を行う上で重要な資格であり、エンジンを除く分解整備（限定認証）を取得できるので、整備士資格制度が変わる前に、車体整備事業者にも有利な、講習を開催してはどうか。

・高度化講習について、設立時は車体整備士の再教育を含めた情報提供を目的に車体整備士全員が対象だったが、今は事業者1人になり、未受講であれば認定が取り消され、認定事業場が減っていく一方ではないか、また、講習内容も思い付きで行っているように感じる。

平岩

・工数作業について、日車協連の理事会を通さず、技術委員会有志で国交省立会いの下検証作業を行っている。

・技術委員会が勝手に事業を進めたことにより理事会で批判が出ている

・料金に反映できるよう高度化講習の受講を通して、コンプライアンスを遵守し、ガイドラインに沿った適切な整備工場としてアピールする。

戸澤

・高度化講習について、受講すべきいい講習だと認識しているが、参加者が少ないので、たくさんの人に受講してもらう手立てを考えているか。

・高度化講習で得た知識を共有しお客さんに対して、やらなければいけないことを発信すれば、おのずと仕事がもらえるのではないか。

以上で予定していた議事がすべて終了したので15時00分に閉会した。

